



## 隠れた現代病・金属アレルギー

No. 25

### \* 金属との出会い

古来より人類は金属を装飾品や権力の象徴として身に付けてきましたが、多くの場合それは金(きん)でした。金は、最も安定した金属で安全性の高い素材です。しかし現代社会において装飾品をはじめ、歯科で用いる金属などは多様化し、パラジウム・銀・銅・ニッケルなどを含んだ合金などが用いられています。

このような様々な金属が巷にあふれかえる時代は人類史上例のないことで、その結果人体への影響が近年クローズアップされてきました。それが「**金属アレルギー**」です。

### \* 金属アレルギーって何？

そもそも「アレルギー」とは何でしょう？ 身体には外部から侵入する異物に対して防御するいわゆる免疫反応が備わっています。この異物を排除したり中和する抗体という物質をつくり、これが反応する事で身体に炎症や障害を引き起こす事をアレルギーと言います。



異物が花粉であれば花粉症といい、金属であれば**金属アレルギー**といいます。

### \* どんな症状が出るの？

一般にアレルギー反応は、その時の体調や体質などで症状の出方は様々です。

1. 湿疹・かぶれ・かゆみなどの皮膚症状
2. 味覚異常
3. 口の中の灼熱感
4. 色素沈着(歯肉のメラニン沈着など)
5. 歯の変色
6. 舌炎・口内炎・口唇炎などの炎症
7. 腎炎・喘息・過敏性肺炎など



### \* 金属アレルギーの検査法

1. パッチテスト(皮膚に微量の金属を作用させて反応をみるテスト)
2. 毛髪ミネラル検査(毛髪中の金属量を測定する。)

### 3. リンパ球テスト(リンパ球の反応測定)

### 4. 唾液分析(唾液中の金属イオンの測定)

また使用されている合金がどのような組成であるかをX線を用いて調べる方法もあります。

### \* どのように治療するの？

原因となる金属が特定できた場合は、それらを含む金属を身体から遠ざける事が基本です。口の中の金属も取り外し、樹脂や検査の結果アレルギー



の反応のなかった金などの貴金属・セラミック等で置き換えます。その後、体内に蓄積された金属イオンをデトックス(解毒)することもあります。古来より用いられたEDTA点滴キレーション療法という方法と食品やサプリメント、運動による発汗などの人体の生命活動を利用した方法があり、後者は重症でなければダイエット効果も期待できます。

### \* 予防は？

食品(卵やそば、牛乳など)にアレルギーがある人や花粉症や喘息などのある人は体質的に



アレルギーがあると考えて良いでしょう。

金やチタンなどの安定した金属

以外は身につけないようにする事が

最大の予防法です。口の中の金属も貴金属やセラミックなどに交換します。(金やプラチナ、チタンなどの貴金属にアレルギー反応を示す人もごく稀にいますが、不安定な卑金属が原因であることが殆どです)アクセサリーなどの皮膚に接触して起こるアレルギーよりも口の中の金属が原因のアレルギーの方が発症率が高いという報告もあります。金属アレルギーの疑いがある場合は、皮膚科で検査することと同様、歯科で口の中をチェックして見ることも大切でしょう。

金属のあふれている今でこそ注目されている

**金属アレルギー**。これも現代病のひとつなのです。



社団法人

## 柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

